

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

本誌編集室担当

短 歌

稽古事月半分も通ひたり

仕事のやうで流石暇なし

●宮古市 太田屋滋

夏空や青きの中に雲ひとつ

ポツリと浮かび我をみつめり

●平塚市 田中博由

人生はこんなものかと老いて知る

喜怒哀楽も夢、幻の如

●笛吹市 沢登清一郎

山小屋に団扇あおぎて夏座敷

シャツにステテコ夢枕かな

●福知山市 嶋尾 充

風鈴の清き音色にさそわれて

輝き流る天の川かな

●愛媛県鬼北町 岸本繁義

オレ・ワリツとはりあい合つた若い頃

遠い昔の夢物語り

●伊万里市 立川紀子

門口に顔顔の濃あじさい

俳 句

大利根の風の航路か銀色の夏

●神栖市 安澤宏介

紅薔薇の香りかぐ子の登下校

●本庄市 入 利雄

メロン切り笑顔よせ合う日曜日

●草加市 長谷部禎子

初孫とクマデ動かす落ち葉掃き

●越谷市 望月順次

今生は水の上なり水馬

●戸田市 篠崎志津子

向日葵が無邪気に笑う休耕地

●朝霞市 林 則雄

彼岸花会いたいあの人墓参り

●東京都葛飾区 東海洋一

道半ば一歩一歩と半夏生

●武蔵村山市 原野晴光

夏海や音夢に誘う寄せる波

ボケ防止ラジオ体操朝の友

●須坂市 関 光男

新茶飲み笑いの絶えぬ古民家

●塩尻市 大家協治

レンゲツツジ広野席卷牧の牛

●塩尻市 奥原光夫

山を越え越える湿原淡竹取る

●塩尻市 小野正平

柿の花ポンと落ちたよ籠のなか

●塩尻市 清沢美恵子

パラボラの銀河はみだす流れ星

●塩尻市 町田まさ子

天の川見上ぐる瞳永遠の愛

●伊丹市 磯部芳子

短夜の枕の下に未完の句

●伊丹市 田村一仁

明易し始発電車の音高く

●伊丹市 山本典子

夢で見る金婚列車ななつ星